

福島県在住書道家の作品展『photo&sumiten2012 “縁”』と インテリア書のワークショップを開催します

福島に、会いに来てください。
『photo&sumiten2012 “縁”』

福島在住の“旅する書道家”千葉清藍と“一撮入魂のカメラマン”なにわのプレッソンの二人展です。東北の今と、そこに咲いた笑顔の花を届けます。福島の美しい風景の中で生まれた書作品と、震災後の東北を撮影した写真を展示し、会場ではインテリア書作品の販売、ワークショップも開催します。

インテリア書ワークショップ

好きな文字や言葉を自由に書き、柄のついた和紙を飾り、フレームに入れて出来上がりです。ご家族、友人同士、お一人様でのご参加も大歓迎です。世界で一つだけの、すてきなインテリア書を作ってみませんか。

日時： 5月20日（日）AM10:00～11:30

講師： 千葉清藍さん

定員： 10人 材料費： 1000円

問合せ： 大阪市ボランティア情報センター
☎06-6765-4041 担当：修田

当日の参加も可能ですが、定員がありますのでメールにてご予約も受け付けています。
【info@seiran-c.net】
詳しくは、千葉清藍ホームページをご覧ください。
【http://www.seiran-c.net/】
※お子様のご参加される場合はあらかじめ汚れてもいい服等をご用意ください。

福島と関西の交流の場になりますよう、お気軽にご参加ください。また大阪での連続開催、ワークショップの追加開催も予定しています。

日時： 5月19日（土）～25日（金）
12:00～19:00

会場・協力： フォトミュレット
兵庫県尼崎市武庫川町4-2
ナカジマビル
阪神電鉄「武庫川」駅 徒歩1分

【ギャラリー】 フォトミュレット
ホームページ: http://www.fotomurette.com/
TEL: 080-4365-2350

第22回大阪城 Jazz Festival へご招待

大学生による関西最大級のビッグ
バンドジャズコンサートイベント

大阪城 Jazz Festival とは、毎年5月に大阪城野外音楽堂で行われる学生ビッグバンドのイベントで、関西11大学の学生が集まって企画、運営、出演を行っています。

日時： 5月19日（土）、20日（日）
開場 13:00 開演 13:30

会場： 大阪城野外音楽堂
JR・地下鉄「森ノ宮」駅 徒歩5分

申込： お名前（ふりがな）、ご来場日、
ご来場人数を明記して
osakajo-jazz@i.softbank.jp まで
ご連絡ください。

問合せ： 第22回大阪城 Jazz Festival
実行委員会 委員長 藤川結華
Tel: 080-6162-8694
Mail: osakajo-jazz@i.softbank.jp
HP: http://osakajo-jazzfestival.jimdo.com/

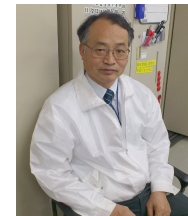
今年度もよろしくお祈いします！

4月になり、お子さんが進学・進級されるなど生活環境が変わられた方もいらっしゃると思います。慣れない環境に戸惑い不安なことも多いとは思いますが、フレッシュな気持ちで歩いていきましょう！今年度もIMONIKAI（いもにかい）は引き続き毎月発行していきますのでどうぞよろしくお祈いいたします。（大阪市ボランティア情報センター 修田 翔）



ボランティア情報センターの 新しい担当職員を紹介します

新年度に伴い大阪市社協内で人事異動があり、ボランティア情報センターでもこれまで県外避難者支援に取り組んできた職員が数名入れ替わりしました。新しく担当させていただく職員からご挨拶をさせていただきます。



副所長
さえん きみお
佐園公生

元気ではつつとした職場で若返っています。何事でも一生懸命取り組みたいと思っていますので、よろしくお祈いします。



主幹
みそぶち はじめ
溝渕肇

はじめまして、溝渕です。どういうわけか、全然知らない人からよく道を聞かれます。それほど親しみやすい顔ではないと思うのですが…。ただ、小さい子どもと動物にはなぜか好かれます。



副主幹
かわぐち かなこ
川口加奈子

4月から大阪市ボランティア情報センター勤務となりました、川口と申します。特技はどこでも眠れることです（*^_^*）みなさんが笑顔になれる生活ができるよう、センタースタッフと一緒に支援してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします！

よろしくお祈いします！

311 支援・タッチラグビー体験会 広い芝生で思いっきり走ってみませんか？

タッチラグビーとは、ラグビーのタックルをより安全な「ボールを持っている人をタッチ」に置き換えた、より親しみやすい簡易型フットボールで、幼児から大人まで一緒にできる競技です。簡単にできるので、気軽に参加してください。子どもだけでも、ママも一緒でもOK！楽しく体を動かしましょう！

日時： 4月29日（日・祝）10:00～15:00 （雨天中止）

場所： 堺市「大泉緑地」芝生広場（地下鉄御堂筋線新金岡駅から徒歩15分）

ご招待： 東日本大震災により大阪に避難中の親子30組（参加費無料）

主催者： どんぐりの家

参加可能年齢： 幼児～大人（3歳くらい～何歳でも。3歳未満でも、一緒に芝生の上で見学してください）

服装： 動きやすい服装+運動靴

内容： ウォーミングアップ、アイスブレイク・自己紹介を兼ねたゲーム（色々）、鬼ごっこ（色々）、グループに分かれてリレー（色々）、タッチ体験、クールダウン

申込： 準備の都合があるので事前に申し込みいただくと有り難いです。阿倍野子育て情報誌 ままちっち abeno_mc@yahoo.co.jp まで。

問合せ： 大阪市ボランティア情報センター ☎06-6765-4041 担当：修田

ミニクッキー教室&「東北復興支援バザー」 ボランティア募集のお知らせ

5月24日（木）・25日（金）に、大阪ガスビル前にて『東北復興支援バザー』と題したチャリティバザーが開催されます。今回天然酵母を使用したこだわりのパンを作っている障害のある方の作業所「NPO 法人 cafe MILLO」と大阪市ボランティア情報センターとのコラボ企画として、ミニクッキー教室とそこで作ったクッキー等のバザーでの販売を行います。そこで一緒にお菓子を作って販売するボランティアをしていただける方を、県外避難されている皆様から募集したいと思いますので、ご興味のある方はボランティア情報センター・修田までご連絡をお願いいたします。

お菓子の制作

日時： 2012年5月23日
13:00～16:00

定員： 6名

会場： cafe MILLO 内キッチン
西区南堀江3-15-7

参加費： 無料

申込： 大阪市ボランティア情報センター
☎06-6765-4041 担当：修田

※バザーは24日・25日の両日行いますが、お菓子の販売は25日のみにになります。※売上の一部は大阪市内に避難されている方を支援する活動のために使用されます。

お菓子の販売

日時： 2012年5月25日
9:00～17:30

定員： なし

会場： 大阪ガスビル前
中央区平野町4丁目1-2

※活動時間はお相談できます

仙台に花を植えに行ってきました！

～宮城県仙台市若林区荒浜笹屋敷地区での活動報告～

3月27日（火）～30日（金）にかけて、避難されている方の子ども会「あさがお」と大阪市ボランティア情報センターが事務局を担っている「市民フォーラムおおさか」が共催して、仙台市若林区荒浜笹屋敷地区の住民との交流活動のため、バスで現地を訪問しました。「あさがお」の子どもも3人参加され、現地では花の苗を植え、花壇づくりを行いました。木製プランター200台にパンジー600株を植える作業は、天気に恵まれたこともあって、現地の方にも子どもにとっても楽しい時間を過ごせたように感じます。

市民フォーラムおおさかでは、今回の繋がりを大切に、今後もぜひバスを走らせたいと思っています。



報告会が4月28日（土）にあります

4月28日（土）に、大阪市立社会福祉センターにて、市民フォーラムおおさか主催の報告会を実施します。仙台での活動はもちろんのこと、「あさがお」の活動や、避難者の方の大阪での生活を振り返って話し合いができればと思っていますので、ご都合の合う方はぜひご参加ください。

日時： 4月28日（土）
14:00～16:00

会場： 大阪市立社会福祉センター
303-304号室

定員： 60人

申込： 大阪市ボランティア情報センター
06-6765-4041 担当：坂本・河崎

締切： 定員に達し次第



市民フォーラムおおさか
イメージキャラクター ココくん

ご質問、ご連絡等は・・・



IMONIKAIバックナンバーもお送りできますのでご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618

＜利用時間＞

月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00

＜休館日＞

日曜・祝日・国民の休日及び

年末年始（12月29日～1月3日）

E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp



南相馬市民130人による原発ADR事件の動向

南相馬市内の住民130人(34世帯)が、弁護団を通じて、平成23年12月末に、原子力損害賠償紛争解決センター(原発ADR)に対し申立をしていた件で、4月16日に開催された期日において、センターから和解案が示されました。今後の賠償の方向を示すものとして注目されます。ここでの争点は、緊急時避難準備区域内の自宅滞在者(緊急時避難準備区域から避難せずに自宅に留まった方、及び一旦は避難したが帰宅した方をいいます。)の慰謝料の額と期間についてでした。

中間指針は、平成23年4月22日までの屋内退避者の慰謝料額を一人10万円と定めていますが、その後の期間についての慰謝料を明確に定めていませんでした。東京電力は、これについて、自宅滞在者については平成23年4月22日までの一人10万円の慰謝料しか認めない、という見解を示していました。しかし、自宅滞在者の多くは、家族や仕事、地域の役職上の必要その他により、避難をしたくても避難できず、又は一旦は避難しても自宅に戻らざるを得ない事情を抱えていました。自宅で生活しているといっても、人口の大幅な減少、地域医療の崩壊、小中学校等の閉鎖や教育環境の悪化、地域経済の停滞等により、生活基盤の喪失による不便や不安に苦しみ、今後にも大きな不安を感じていました。このような自宅滞在者の精神的苦痛は、避難生活を送っている方の精神的苦痛と大きな差を認めるべきではありません。

これについて今回センターの示した和解案は、

- ①本件事故以降平成23年9月末まで1人当たり月額10万円
- ②平成23年10月から平成24年2月末まで1人当たり月額8万円を基準とし、これに個別具体的な事情により別途増額する。平成24年3月以降の慰謝料については引き続き検討する

というものでした。これにより、これまで東京電力が平成23年4月22日に指定解除になった区域について、それ以降の賠償を制限してきた点につき、少なくとも本年2月までの賠償はADRにおいて認めさせる道が切り拓かれる展望がひらけました。ただ、そもそも月10万円という慰謝料額が低すぎるという問題、平成23年10月以降も事態に何ら変化はないのに8万に減額がなされる根拠がないなどの問題点は残りますので、引き続き、各地から申立することにより、正当な賠償を求める動きを活発にする必要があります。

原発事故被災者支援関西弁護団ご連絡先

(TEL) 06-6362-9615

弁護団事務局長

(FAX) 06-6362-5143

大阪共同法律事務所 弁護士 白倉典武

★東淀川区で地域の交流会が開催されました。★

4月7日(土)、東淀川区内で、東日本大震災で被災し市内へ来られている県外避難者の方々と、地元住民の交流会が開催されました。この会は地域住民と地域の民生委員が主催したもので、県外避難者の生活支援をしている東淀川区の社協職員も参加しました。

桜が咲いている春の日にしては気温が低く少し寒い一日でしたが、15人の県外避難者の方が参加され、用意していただいた温かい飲み物と地元のおいしいお菓子を手に、近くに住んでいても普段なかなか接する機会のない地域の方と楽しくお話をされていました。



震災から1年が経過し、地元へ戻る方もおられますが、避難先に選んだこの地へ移住するような方向で考えられている方もいらっしゃると思います。そのような方が「遠いところから来られたお客さん」という存在から、同じ地域で生活する仲間として住民の輪の中へ入っていけるように、OCVICとしても生活面のサポートを続けていきたいと思っています。



方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

東北弁の「コワイ」と関西弁の「エライ」

こんなことがありました。学生が「エライわー」とため息をついています。誰のことを話題にしているのだらうと思いましたが、学生の声の様子を聞いて思い出しました。関西では「疲れる」という意味で「エライ」を使うのです。学生は関西弁の「エライ」を使っていました。共通語にも「エライ」という言葉はありますが、これは「偉い」という意味です。だから、関西弁を知らないと勘違いしてしまいます。似たような方言が東北にもあります。「コワイ」です。東北の祖父母は、畑仕事から戻ってくると「コエー」とよく言っていました。「コワイ」も共通語にある言葉ですが、その意味は「怖い」。だから、「疲れた」という意味の東北弁の「コワイ」を知らないと、なぜ東北人はそんなに怖がりなのかと心配になってしまいます。関西弁の「エライ」や東北弁「コワイ」のように、共通語と同じ語形でも意味が方言特有な言葉は、なかなか方言と気づかれないようです。だから、気づかないで使うと「それ、方言？」と質問され、驚くことが多々あります。そんな方言が東北弁にも大阪弁にもたくさんあります。暖かい季節になりました。大阪の街を散歩するときは、ぜひ耳を澄ませて「それ、方言？」という方言を発見してみてください。

(追手門学院大学講師 櫛引祐希子)

【方言募集】ぜひ、ご連絡ください。

住所：〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子

E-mail: yukushib@res.otemon.ac.jp

音とあそび・音でつくる・音を発見するワークショップ

大友良英「子どもオーケストラ」が開催されました



3月29日(木)、西成区にある大阪市立南津守小学校で、音楽家の大友良英さんを講師としたワークショップ「子どもオーケストラ」が開催されました。大友さんは10代を福島県で過ごされたこともあり、震災から福島県を応援する「プロジェクト FUKUSHIMA!」を立ち上げられました。今回の子どもオーケストラにも避難されている家庭の子どもたちが4人参加されていました。

子どもオーケストラには楽譜が無く、思い思いの楽器を持った子どもたちが大友さんの指揮に合わせて即興で演奏をしていきます。最初はばらばらに音を出しているだけだった子どもたちも、次第に息を合わせてだんだんと揃っていく演奏に笑顔をこぼしていました。全員がぴったり合わせて出した音はまさしく音の塊で、子どもたちの手から出てきたとは思えない迫力でした。

方言の交差点が新聞に掲載されました！

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

IMONIKAI(いもにかい)にてこれまで何度かご紹介した「方言の交差点」が、本紙に掲載されたことがきっかけで、4月16日(月)の読売新聞朝刊くらし・家庭面に掲載されました。東北弁と大阪弁という一見対照的にみえる方言でも意外な共通点があったりと、方言には身近にあると気付かない興味深い面があります。方言は全ての日本人に通じる「ふるさと」を感じさせてくれる素敵な文化だと思います。方言のおもしろさや美しさなど、魅力的な部分を改めて教えてくれるこちらのコーナー、今後も引き続き掲載していきたいと思っています。